

平成 29 年度

事業計画

社会福祉法人行田市社会福祉協議会

平成29年度 事業計画

第1 運営方針

近年、社会経済情勢が変化している中で、急増、複雑化する福祉課題や福祉ニーズに対応するために、国においては社会福祉法をはじめとする関係法令の改正が行われています。

これらの法改正で目指すものは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりの推進であり、地域とのつながり、相互支援、助け合い活動等地域における「互助」の活動が大きな役割を担っており、地域福祉推進の中核団体である社会福祉協議会には、大きな期待が寄せられています。こうした期待に応えるためにも、本会では、住民の皆さまとともに策定した地域福祉推進計画の基本理念「誰もがお互いに支えあい、自分らしく生き生きと暮らせる共生のまち行田」に基づき、様々な関係機関・団体と連携して地域の支えあい活動を推進していきます。

また、本年度は、安心して生活が営め、適切なサービスが利用できるように相談支援を行う法人後見事業や自立相談支援事業等の個別支援活動の充実を図るとともに、地域における高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組みとして、生活支援体制整備事業を実施することで、さらに地域の支えあい活動を強化し、質の高い個別支援と地域づくりの一体的な推進に努めます。

- 1 地域福祉を総合的に推進します
- 2 高齢者、障害者及び児童福祉サービスの充実に努めます
- 3 権利擁護事業及び生活支援事業の充実を図ります
- 4 指定管理施設の適正な管理に努めます
- 5 適正な法人運営と経営基盤の強化を図ります

第2 重点事業

1 地域福祉の総合的な推進

(1) いきいきサロン活動の推進及び支援 (予算：4,014千円)

地域に住む高齢者のふれあいの場となるいきいきサロン活動を支援し、仲間づくりや健康づくり、また高齢者の閉じこもり防止に取り組みます。

【数値目標】いきいきサロン設置数 95カ所 (H28 89カ所)

(2) ボランティアセンターの機能充実 (予算：1,111千円)

①相談業務

ボランティアの需給調整、情報提供などを行い、ボランティアをしたい人とボランティアに来てほしい人をつなぎます。

【数値目標】需給調整件数 90件 (H28 80件)

②ボランティア体験プログラム

「彩の国ボランティア体験プログラム 2017 in 行田」を実施し、ボランティア活動へのきっかけづくりを行います。

【数値目標】参加者数 延 250人 (H28 延 242人)

③ボランティア講座の開催

気軽に参加できる初級講座や実践者向けのレベルアップ講座を行います。また、市民の防災意識を高め、自助・共助による減災活動に取り組める地域づくりのために災害ボランティア養成講座を行います。

【数値目標】受講者数 5回開催 延 200人 (H28 4回開催 延 173人)

④ボランティア団体の活動支援

ボランティア団体連絡協議会等への支援を行い、各グループ間の活動の活性化を図ります。

⑤福祉教育の推進

社会福祉協力校を指定し、児童や生徒の社会奉仕及び社会連帯の精神を養い、福祉体験や地域との交流活動を行います。

⑥情報発信

本会ホームページや「社協だより」への掲載、総合福祉会館をはじめとする各公共施設に掲示するほか、ボランティア地域交流事業「ボランティアカフェ」を開催し、ボランティア情報の発信を行います。

(3) 地域安心ふれあい事業 (予算：5,965千円)

①いきいき・元気サポート制度（有償ボランティア）の推進

地域の支え合いの理念に基づき、日常生活において支援を必要とする高齢者や障害者などに対して、サポーターとして登録された方々による見守りや家事援助などのサービスを提供します。

【数値目標】 サポーター数 200人 (H28 175人)

利用者数 250人 (H28 228人)

活動時間数 3,600時間 (H28 3,000時間)

②支えあいマップづくりの推進

「支え合いの地域づくり」の取り組みとして、地域住民が支援を必要とする人や地域課題を共有するために、支えあいマップの作成を推進します。

【数値目標】 更新自治会数 70自治会 (H28 58自治会)

(4) ふれあい福祉健康まつりの開催 (予算：2,291千円)

市民相互のふれあいの場をつくり、福祉に対する理解を促進します。

【数値目標】 来場者数 約5,000人 (H28 約4,500人)

(5) 共同募金配分金事業の実施 (予算：13,755千円)

共同募金会からの配分金により、高齢者や障害者・児童など、地域で援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう各種事業を実施します。

(6) 生活支援体制整備事業の実施 (予算：3,102千円)

地域資源の開発やボランティア・地域包括支援センター・NPO団体・民間企業等による多様な支援のネットワーク化など行い、地域の支えあ

い体制づくりを推進します。

2 高齢者、障害者及び児童福祉サービスの充実

(1) 地域活動支援センター事業（Ⅱ型） （予算：13,734 千円）

日常生活に支障をきたしている障害者に対して、通所により創作活動、機能訓練、食事、入浴などのサービスを提供し、利用者が地域において自立した社会生活を営むことができるように支援します。

また、事業の周知に努め、利用者の増加に努めます。

【数値目標】利用者数 一日型 延 960 人（H28 延 936 人）
短時間型 延 840 人（H28 延 720 人）

(2) 介護予防事業の実施

（予算：一般介護予防 502 千円、通所型 A 2,343 千円、通所型 C 1,896 千円）

介護保険の被保険者に対して、要介護状態または要支援状態となることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

介護保険制度の改正に伴い、二次予防事業からの転換をした、「通所型 A」「通所型 C」「一般介護予防教室事業」を昨年度より継続し実施することで、介護予防に努めます。

※「通所型 A」…基本チェックリストで、要介護状態となるおそれのある方及び要支援状態の方、また以前、介護予防教室に参加したことのある方に対して、集いの場を設け、レクリエーションや体験講座を実施します。

※「通所型 C」…基本チェックリストで、要介護状態となるおそれのある方及び要支援状態の方に対して、専門職の指導を受けながら、「運動器の機能向上」・「栄養改善」・「口腔機能の向上」を図り、認知症予防となるレクリエーション等を実施します。

※「一般介護予防教室事業」…65 歳以上の高齢者に対して、健康づく

りや生きがいがづくりの教室事業を実施し、介護予防に関する活動の普及・啓発に努めます。

【数値目標】

「通所型A」 定員 20名（全40回／年 実施）

「通所型C」 定員 8名（全36回、2コース／年 実施）

「一般介護予防教室事業」 10講座、計50回 実施

（3）機能回復訓練事業 （予算：28,665千円）

高齢者や障害者に対して、心身機能の維持向上と健康増進を目的とした訓練を行います。また、運動の効果が体力面だけでなく、認知機能の向上に結びつくよう、訓練内容を工夫しながら実施します。プールでは、既存の営業時間を拡大し、利用の利便性向上に努めます。

【数値目標】 利用者総数 延 26,500人（H28 延 25,500人）

機能回復訓練利用者数 延 17,000人（H28 延 16,500人）

プール利用者数 延 9,500人（H28 延 9,000人）

（4）居宅介護・重度訪問介護事業 （予算：4,971千円）

障害者（児）が在宅で日常生活を営むことができるよう、利用者の身体状況等に応じて身体介護や家事援助などの生活支援を行います。

【数値目標】 延利用回数 870回（H28 860回）

（5）児童発達支援事業 （予算：6,455千円）

発育・発達に遅れがあると認められる未就学児が、社会生活に適應できるよう生活指導、機能訓練などを行います。

【数値目標】 延利用件数 600件（H28 600件）

（6）放課後児童健全育成事業 （予算：109,167千円）

保護者の就労などにより、昼間常時留守になる家庭の小学生に対して、放課後等の居場所を提供し、その保護及び育成を図ります。

3 権利擁護事業及び生活支援事業の充実

(1) 法人後見事業 (予算：370千円)

成年後見制度に関する相談や申立支援などを行います。また、裁判所の審判により、本会が後見人等となる法人後見事業を実施します。

【数値目標】受任件数 2件 (H28 1件)

(2) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)(予算：2,689千円)

高齢者や知的障害・精神障害者などで判断能力が不十分な方に対して、生活支援員の協力により、福祉サービスの利用申込みや契約手続き、日常的な金銭の出し入れなどを支援します。

【数値目標】利用者数 40件 (H28 36件)

(3) 行田市福祉資金貸付事業 (予算：9,828千円)

一時的に生計困難にある低所得者世帯に対して、生活の安定と自立を図るため、1世帯3万円を限度に貸し付けを行います。

【数値目標】貸付件数 135件 (H28 140件)

(4) 生活困窮者自立相談支援事業 (予算：13,911千円)

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、相談支援を行い、関係機関と協力して支援計画を作成し、自立に向けた支援を行います。

【数値目標】新規相談支援件数 56件 (H28 50件)

支援実績件数 延1,280件 (H28 延1,272件)

(5) 学習支援事業 (予算：1,215千円)

生活保護世帯や生活困窮世帯の子どもに対して、学習支援の提供を行います。

【数値目標】学習支援利用者数 8名 (H28 8名)

(6) 彩の国あんしんセーフティネット事業 (予算：20千円)

県内の社会福祉法人で組織する社会貢献活動推進協議会の会員となり、生活困窮者の自立の支援を行います。

4 指定管理施設の適正な管理

運営経費の節減を図るとともに、施設を安心して利用していただけるよう、設備等の適正な管理に努めます。

(1) 行田市総合福祉会館 (予算：56,013千円)

【数値目標】利用者数 52,000人 (H28 51,000人)

(2) 行田市老人福祉センター (予算：37,291千円)

【数値目標】利用者数 20,000人 (H28大堰永寿荘12,000人、南河原荘7,000人)

(3) 行田市障害者福祉センター (予算：19,434千円)

5 適正な法人運営と経営基盤の強化

広報活動の充実を図り、自主財源の確保に努めます。

(1) 理事会、評議員会の開催 (予算：225千円)

(2) 会員会費増強活動 (予算：125千円)

【数値目標】団体会員 85団体 (H28 75団体)

(3) 社協だよりの発行(年5回・全戸配布) (予算：2,104千円)

(4) ホームページの充実 (予算：137千円)

第3 実施事業一覧

1 地域福祉に関する事業

(1) いきいきサロン事業 《重点》〔自主〕

(2) ボランティアセンター事業 《重点》〔自主〕

ボランティアの相談、ボランティア活動へのきっかけづくりやボランティア講座の開催、ボランティア団体の活動支援、ボランティアの情報発信、社会福祉協力校の指定、災害ボランティアの養成

(3) 地域交流事業 〔自主〕

(4) ふれあい福祉健康まつり 《重点》〔自主〕

(5) 地域安心ふれあい事業 《重点》〔受託〕

いきいき・元気サポート制度、支えあいマップづくり

(6) 共同募金配分金事業 《重点》〔自主〕

①一般募金配分金事業

いきいきサロン助成、ふれあい里親事業、福祉団体助成事業、社会福祉協力校助成事業

②歳末たすけあい募金配分金事業

歳末たすけあい援護事業、ふれあい福祉健康まつり、ひとり親家庭新入学祝い事業、在宅生活支援事業、ボランティア活動助成事業、訪問理美容サービス事業、地域福祉活動事業、社協だより発行、学校図書支援事業、親子ふれあい事業、災害ボランティアセンター推進事業、支えあいマップ事業、障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会、市民ベンチ事業、福祉教育推進事業

(7) 協力団体への助成

行田市自治会連合会、行田市民生委員・児童委員連合会 〔自主〕

(8) 生活支援体制整備事業 《重点》〔受託〕

2 高齢者・障害者福祉に関する事業

(1) 車いす貸出事業 〔自主〕

(2) 居宅介護・重度訪問介護事業 《重点》〔自主〕

(3) 福祉車両貸出事業 〔自主〕

(4) 訪問理美容サービス事業 〔自主〕

(5) 手話通訳者派遣事業 〔受託〕

(6) 地域活動支援センター事業(Ⅱ型) 《重点》〔受託〕

(7) 介護予防事業 《重点》〔受託〕

(8) 機能回復訓練事業 《重点》〔受託〕

(9) 各種教室事業 〔受託〕

3 児童福祉に関する事業

- | | |
|-----------------------|----------|
| (1) 児童発達支援事業 | 《重点》〔自主〕 |
| (2) おもちゃ図書館 | 〔受託〕 |
| (3) ファミリー・サポート・センター事業 | 〔受託〕 |
| (4) 放課後児童健全育成事業 | 《重点》〔受託〕 |
| (5) 児童センター事業 | 〔受託〕 |
| (6) ふれあい里親事業 | 〔自主〕 |

4 権利擁護及び生活支援に関する事業

- | | |
|----------------------------------|----------|
| (1) 法人後見事業 | 《重点》〔自主〕 |
| (2) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと) | 《重点》〔受託〕 |
| (3) 行田市福祉資金貸付事業 | 《重点》〔自主〕 |
| (4) 生活福祉資金貸付事業 | 〔受託〕 |
| (5) 生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業、学習支援事業) | 《重点》〔受託〕 |
| (6) 彩の国あんしんセーフティネット事業 | 《重点》〔自主〕 |
| (7) 法外援助による一時援護事業 | 〔自主〕 |

5 指定管理に関する事業

- | | |
|----------------------------------|----------|
| (1) 行田市総合福祉会館の指定管理 | 《重点》〔受託〕 |
| (2) 行田市老人福祉センターの指定管理(大堰永寿荘、南河原荘) | 《重点》〔受託〕 |
| (3) 行田市障害者福祉センターの指定管理 | 《重点》〔受託〕 |

6 適正な法人運営と経営基盤の強化

- | | |
|-----------------|----------|
| (1) 理事会、評議員会の開催 | 《重点》〔自主〕 |
| (2) 各種委員会の開催 | 〔自主〕 |
| (3) 会員会費増強活動 | 《重点》〔自主〕 |
| (4) 社協だよりの発行 | 《重点》〔自主〕 |

(5) ホームページの充実

《重点》〔自主〕

7 その他

(1) 埼玉県共同募金会行田市支会

(2) 日本赤十字社埼玉県支部行田市地区

(3) 行田地区更生保護女性会